



決算説明資料

2024年3月期 Q1決算 (23/4-23/6)

2023年8月7日

1	全体サマリー	<ul style="list-style-type: none">全体サマリー決算のポイント：FY23Q1実績
2	実績	<ul style="list-style-type: none">実績 - YoY, QoQ
3	セグメント別損益	<ul style="list-style-type: none">デジタルソリューション事業<ul style="list-style-type: none">主要製品売上推移ライフサイエンス事業合成樹脂事業
4	通期予想	<ul style="list-style-type: none">実績 vs FY23計画 (変更なし)FY23 通期業績予想 ポイント (再掲)業績見通しに関する市場前提
5	トピックス	<ul style="list-style-type: none">ライフサイエンス事業 (CDMO)：KBI新工場 生産計画の進捗
6	Appendix	<ul style="list-style-type: none">連結損益計算書連結財政状態計算書連結CF計算書四半期推移IRカレンダー

【表記注記】

デジタルソリューション事業	： DS
半導体材料	： SEMI
ディスプレイ材料	： DISP
エッジコンピューティング	： EC
ライフサイエンス事業	： LS
合成樹脂事業	： PLA

1. 全体サマリー

**SEMIは半導体サイクルの影響、LSは特殊要因による減益。
需要環境を注視しつつ、Q2以降の大幅な利益回復を見込む。**

FY23Q1実績 YoY 減収減益

- Q1単独でコア営業利益赤字。LSの一過性による特殊要因の影響。
 - ✓ SEMIは前Qに続き、半導体全般の需要減の影響による減収。
 - ✓ LSはCDMOの大規模修繕及び一部在庫評価損等計上。IVDの検査キットは販売未発生。
- Q1想定に対しSEMI需要は下振れ、LSの評価損は追加の引当て。他は全体でほぼ想定内。コストは抑制。

FY23業績予想 YoY 増収増益

- 通期業績予想に変更なし。下期に向け回復を見込む。但し需要の回復ペースに対して注視を続ける。
 - ✓ SEMIの需要環境はQ2より徐々に回復、来年に向けて本格回復を見込む。当社シェアはEUVの先端領域にて順調に拡大（EUVはQ1においてもYoY+25%で成長）。DISPの需要環境は回復基調。
 - ✓ LSはCDMOのKBI新工場の立上げ順調。コロラド工場の大規模修繕後の稼働再開を含め、生産全体がQ2以降大きく拡大する見込み。収益構造改革も推進中。

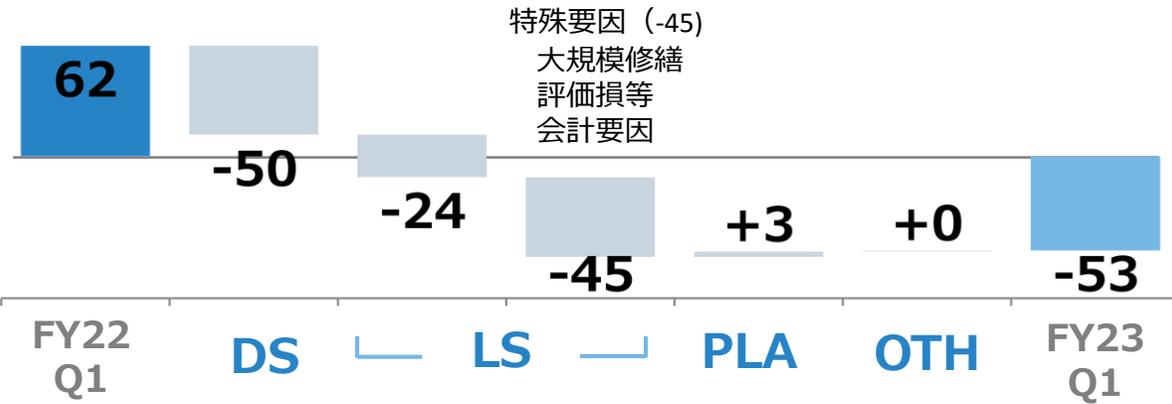
JICCとの 戦略的 パートナーシップ*

- 2023年6月26日、当社よりJICC-02株式会社による公開買付けの開始予定に係る賛同の意見表明及び応募推奨のお知らせを開示。12月頃の公開買付け開始を予定。
- 持続的な企業価値向上のため、戦略的方向性が一致するJICCとの戦略的パートナーシップを志向。非公開化の上、JICCとの協業により戦略の推進を加速するとともに、半導体材料業界の再編を機動的に推進。国際競争力と全事業の中長期的な成長力の強化を目指す。
- 全てのステークホルダーにとって最善の選択肢になると期待。
- 国内外の関連規制に基づく手続きを問題なく進行中。

1. 決算のポイント：FY23Q1実績

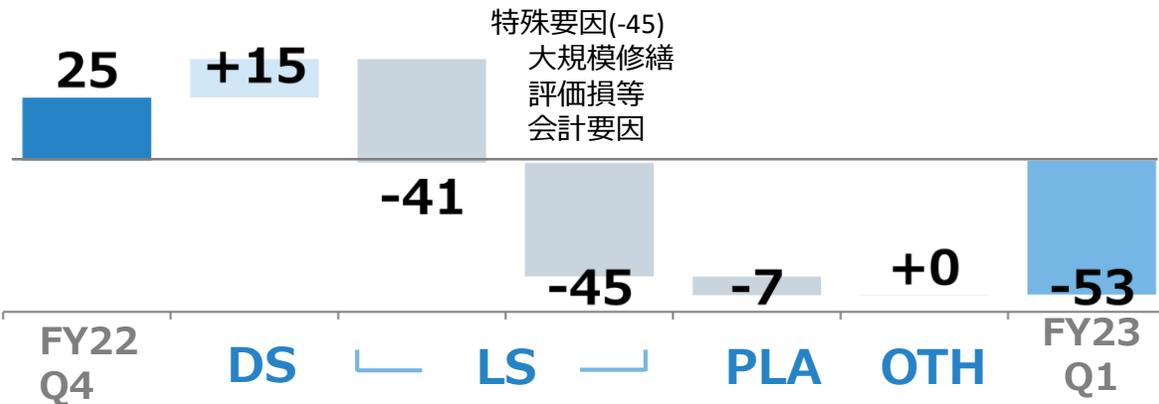
YoY コア営業利益 (億円)

FY23Q1 Act: 売上 850億円、コアOP -53億円



特殊要因 (-45)
大規模修繕
評価損等
会計要因

QoQ コア営業利益 (億円)



特殊要因(-45)
大規模修繕
評価損等
会計要因

YoY

デジタルソリューション事業

SEMI • 半導体市場の大幅需要減少に起因する販売減。

DISP/EC • DISPは昨年度後半から需要回復基調も、YoYは減収。
• ECはスマホ需要低調の影響を受けて減収。

ライフサイエンス事業

• 予定していたCDMOの大規模修繕、その他評価損等の計上を受け減益。
• 収益改善プロジェクトをQ1に実施。顧客業界でCROの需要が一部減速。

合成樹脂事業

• 需要は回復基調。価格改定も順次進捗。

QoQ

デジタルソリューション事業

SEMI • 需要環境は横ばいも、販売は回復基調。
• EUVの最先端Logic及びDRAM向け採用評価は順調に進捗。

DISP/EC • DISPは需要回復により増収。

ライフサイエンス事業

• 上述CDMOの大規模修繕及び評価損等の影響。
• IVDの検査キットの販売タイミング差（FY22下期に販売があったものの、Q1実績はなし）。

合成樹脂事業

• 販売数量は増加基調も、受払差等による減益。

2. 実績 – YoY, QoQ

YoY DS及びLSでの減収減益。DSは半導体サイクルの影響。LSは前述の一時要因が主因。

QoQ DSは増収増益。FY22Q4から売上は回復基調。LSは減収減益。一時要因とIVDの検査キットの販売タイミング差。

(億円)

		22Q1	23Q1	YoY	22Q4	23Q1	QoQ
連結	売上収益	933	850	-9%	959	850	-11%
	コア営業利益	62	-53	-	25	-53	-
	営業利益	73	-61	-	-29	-61	-
	親会社所有者帰属利益	57	-26	-	-38	-26	-
デジタルソリューション	売上収益	429	377	-12%	354	377	+7%
	半導体材料	305	262	-14%	252	262	+4%
	ディスプレイ材料	104	99	-5%	86	99	+15%
	エッジコンピューティング	20	16	-20%	16	16	+2%
	コア営業利益	77	26	-66%	11	26	+139%
ライフサイエンス	売上収益	227	212	-7%	334	212	-37%
	コア営業利益	0	-69	-	18	-69	-
合成樹脂	売上収益	228	227	-0%	236	227	-4%
	コア営業利益	-5	-2	-	6	-2	-
その他・調整額	売上収益	49	34	-30%	36	34	-5%
	コア営業利益	-10	-9	-	-9	-9	-
Exchange rate (USD/JPY)		130	137	+6%	132	137	+4%

	YoY	QoQ
連結	減収減益	減収減益
DS	減収減益	増収増益
SEMI	減収減益	増収増益
DISP	減収減益	増収増益
EDGE	減収減益	増収減益
LS	減収減益	減収減益
PLA	減収増益	減収減益
OTH	減収増益	減収増益

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

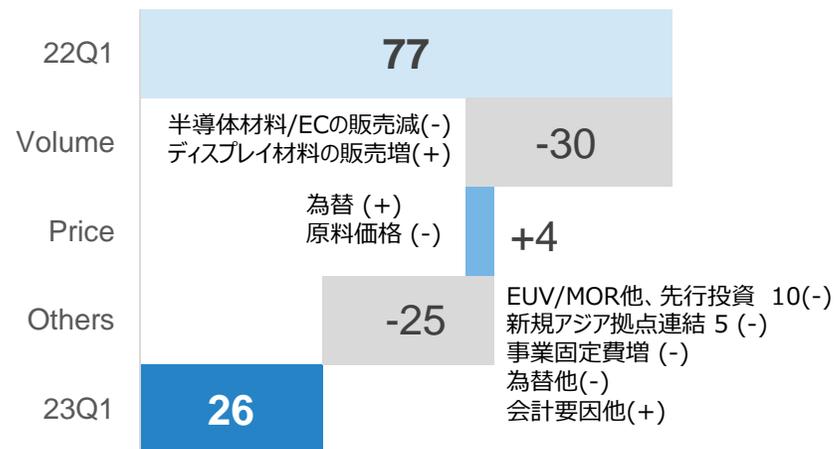
3.セグメント別損益：デジタルソリューション事業

(億円)

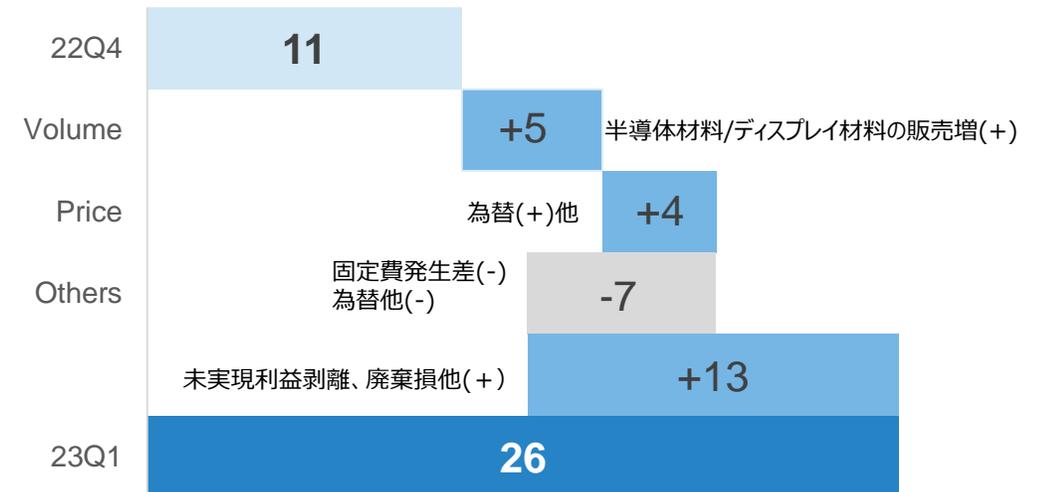
	22Q1	23Q1	YoY	YoY (CER)*	22Q4	23Q1	QoQ
売上収益	429	377	-12%	-14%	354	377	+7%
半導体材料	305	262	-14%	-17%	252	262	+4%
ディスプレイ材料	104	99	-5%	-6%	86	99	+15%
エッジコンピューティング	20	16	-20%	-20%	16	16	+2%
コア営業利益	77	26	-66%	-75%	11	26	+139%
コア営業利益率	17.8%	7.0%			3.1%	7.0%	
Exchange rate (USD/JPY)	130	137	+6%	0%	132	137	+4%

コア営業利益差異分析(億円)

YoY



QoQ



*MOR:メタルオキサイドレジスト

*参考値:CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

3. デジタルソリューション事業：主要製品売上推移



		YoY ytd	QoQ
半導体材料	EUV	+25%弱	-35%程度
	ArF	-10%強	+10%程度
	多層材料	-15%程度	+5%強
	その他リソグラフィ材料	-5%程度	+5%程度
	CMP材料	-20%強	-10%強
	洗浄剤	-50%強	横ばい
	実装材料	-10%程度	+40%弱
ディスプレイ材料	配向膜	-5%強	+20%程度
	絶縁膜	+10%強	+15%程度
	着色レジスト	-35%程度	+10%強
	OLED材料	+55%弱	+20%弱
エッジコンピューティング	ARTON	-20%程度	横ばい

3.セグメント別損益：ライフサイエンス事業

(億円)

	22Q1	23Q1	YoY	YoY (CER)*	22Q4	23Q1	QoQ
Revenue	227	212	-7%	-11%	334	212	-37%
CDMO		118				118	
CRO		54				54	
BPM		3				3	
IVD		36				36	
Others/Adjustments		1				1	
Core OP	0	-69	-	-	18	-69	-
Core OP margin	0.1%	-			5.3%	-	
Exchange rate (USD/JPY)	130	137	+6%	0%	132	137	+4%

コア営業利益差異分析

YoY

	売上収益	コア営業利益
Total	-7%	-
CDMO	+10%強	減益
CRO	-5%程度	減益
BPM	-80%程度	減益
IVD	-30%弱	減益

QoQ

	売上収益	コア営業利益
Total	-37%	-
CDMO	-20%程度	減益
CRO	+10%程度	減益
BPM	-65%強	前期並み
IVD	-75%弱	減益

CDMO: バイオ医薬品の開発・製造受託
CRO: 医薬品の開発受託

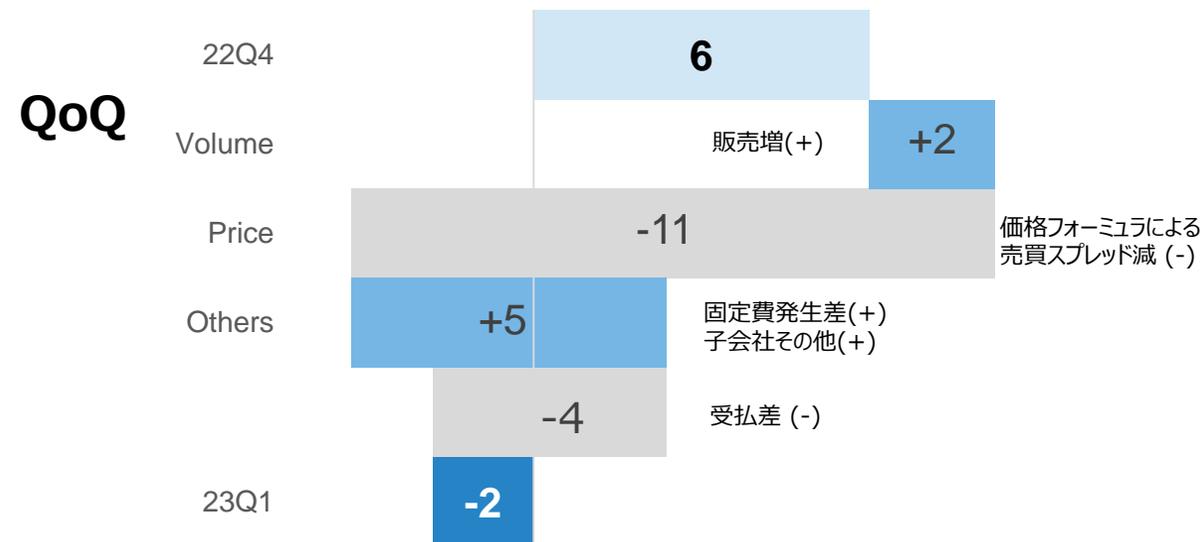
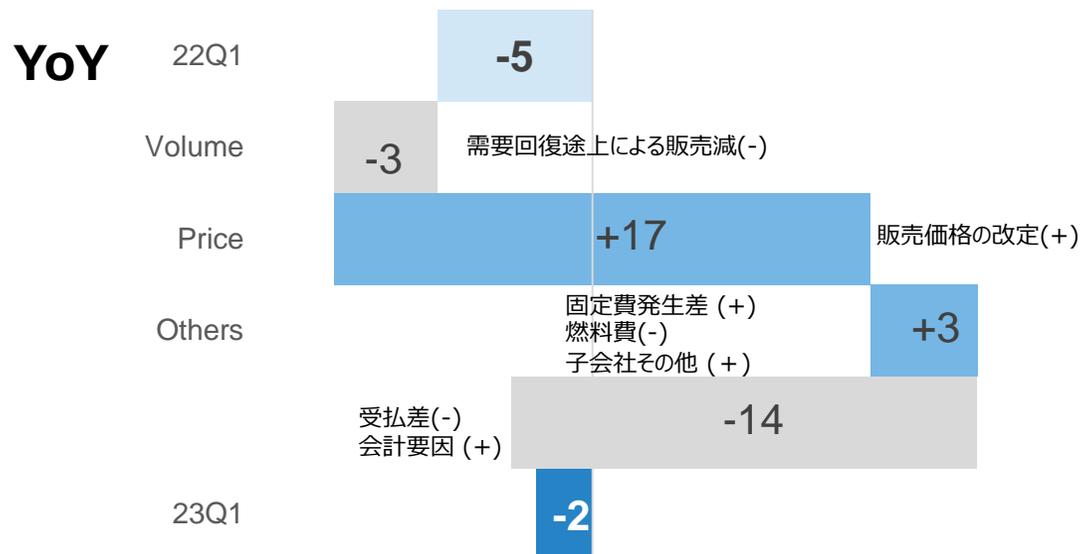
BPM: バイオプロセス材料
IVD: 診断試薬材料

3.セグメント別損益：合成樹脂事業

(億円)

	22Q1	23Q1	YoY	YoY (CER)*	22Q4	23Q1	QoQ
売上収益	228	227	-0%	-2%	236	227	-4%
コア営業利益	-5	-2	-	-	6	-2	-
コア営業利益率	-	-			2.4%	-	
Exchange rate (USD/JPY)	130	137	+6%	0%	132	137	+4%

コア営業利益差異分析(億円)



*参考値:CER(Constant Exchange Rate/恒常為替レート、為替影響を除いたもの。)

4.実績 vs FY23計画 (変更なし)

<2023年4月27日>

(億円)

		FY23Q1 Act	FY23 Pro	Progress
連結	売上収益	850	4,420	19%
	コア営業利益	-53	420	-
	営業利益	-61	420	-
	親会社所有者帰属利益	-26	250	-
デジタルソリューション	売上収益	377	1,750	22%
	半導体材料	262	1,260	21%
	ディスプレイ材料	99	400	25%
	エッジコンピューティング	16	90	18%
	コア営業利益	26	270	10%
ライフサイエンス	売上収益	212	1,425	15%
	CDMO	118	700	17%
	CRO	54	315	17%
	BPM	3	55	6%
	IVD	36	355	10%
	その他/調整	1	-	-
	コア営業利益	-69	160	-
合成樹脂	売上収益	227	1,075	21%
	コア営業利益	-2	40	-
その他・調整額	売上収益	34	170	20%
	コア営業利益	-9	-50	-
Exchange rate (USD/JPY)		137	135	

FY23計画達成へ向けた取り組み

デジタルソリューション事業

- Q1収益の進捗率は22%。SEMIの需要低迷により一部遅れ。
- 下期に向け需要回復と先端材料の売上増加を見込む。
- 構造改革、EUV/MOR投資、アジア強化は進行中。

ライフサイエンス事業

- 一時的要因を除き、事業全体はほぼ計画並みの進捗。
- CDMOの稼働は順調。KBI新工場は当初の生産スケジュールを上回る見通し。
- バイオテックの一部需要低迷下、CROの販売強化。
- 収益改善策は確実に実行中。利益率向上に向けて更なる構造改革も検討。
- IVDの抗原検査キットの販売は下期の見通し。

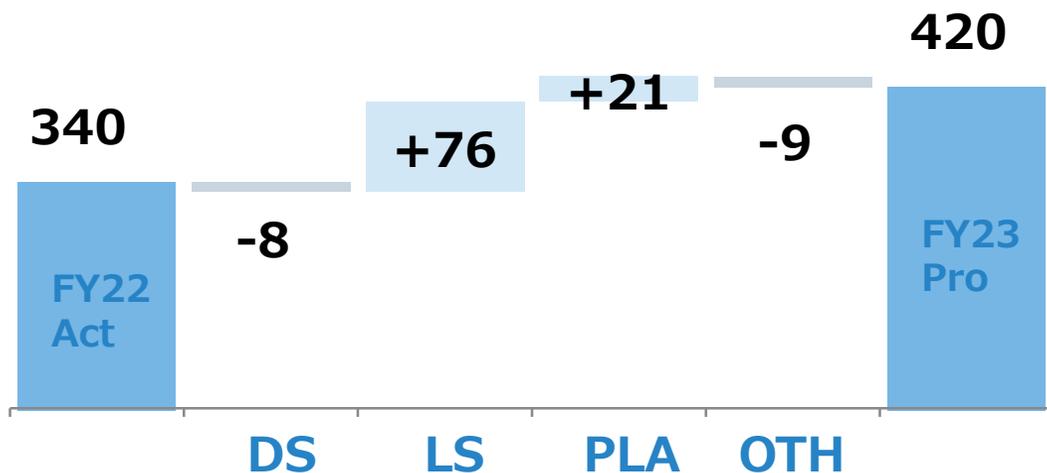
合成樹脂事業

- 需要は明確に回復傾向。
- 価格改定の取り組み強化、Q2から効果を見込む。

4.FY23 通期業績予想 ポイント (再掲)

FY22 vs FY23 業績予想差異(億円)

FY23 Pro: 売上 4,420億円、コアOP 420億円



大幅な利益回復。
LSが牽引。DSはFY24のV字回復への弾込め。

DS事業

- SEMI
 - 売上ほぼフラット、投資増による減益
 - 対面市場は下期回復も、通期はマイナス成長を前提とする。
 - FY24へ向けた準備 (構造改革、EUV/MOR投資、アジア強化)
 - 主要材料のシェアは安定的に推移。先端分野でのシェア拡大。
- DISP/
EC
 - 増収増益
 - FPDパネル市場は安定した回復を見込む。
 - 光配向膜、OLED材料のシェア拡大を織り込む。
 - ECのシェア拡大を織り込む。

LS事業

- CDMOは下期に向け増益拡大。新工場はFY23後半にフル生産。FY24にOP率20%達成へ向け改革プロジェクトを開始した。
- IVDの抗原検査キットは受注確定分を織り込む。
- CROはM&Aによりバイオバンク事業を新たに取り込んだ。

PLA事業

- 自動車市場の回復を見込む。
- 売買スプレッドは改善 (販売価格改定)

4. 業績見通しに関する市場前提

	FY22実績	Q1実績	FY23見通し (変更なし)	FY24見通し (変更なし)
為替 (USD/JPY)	135	137	135	-
シリコンウエハインプット (YoY)	+/-0%	-15~20%	-5%	+14%
パネルメーカー稼働率 パネル生産 (YoY)	71% -19%	82% +2%	78% +12%	83% +8%
スマホ出荷台数 (YoY)	-9%	-8%	+3%	+4%
グローバル自動車生産台数 (YoY)	+8%	+14%	+5%	+4%
バイオ医薬品市場 (YoY)	+8%	-	+7%	+9%

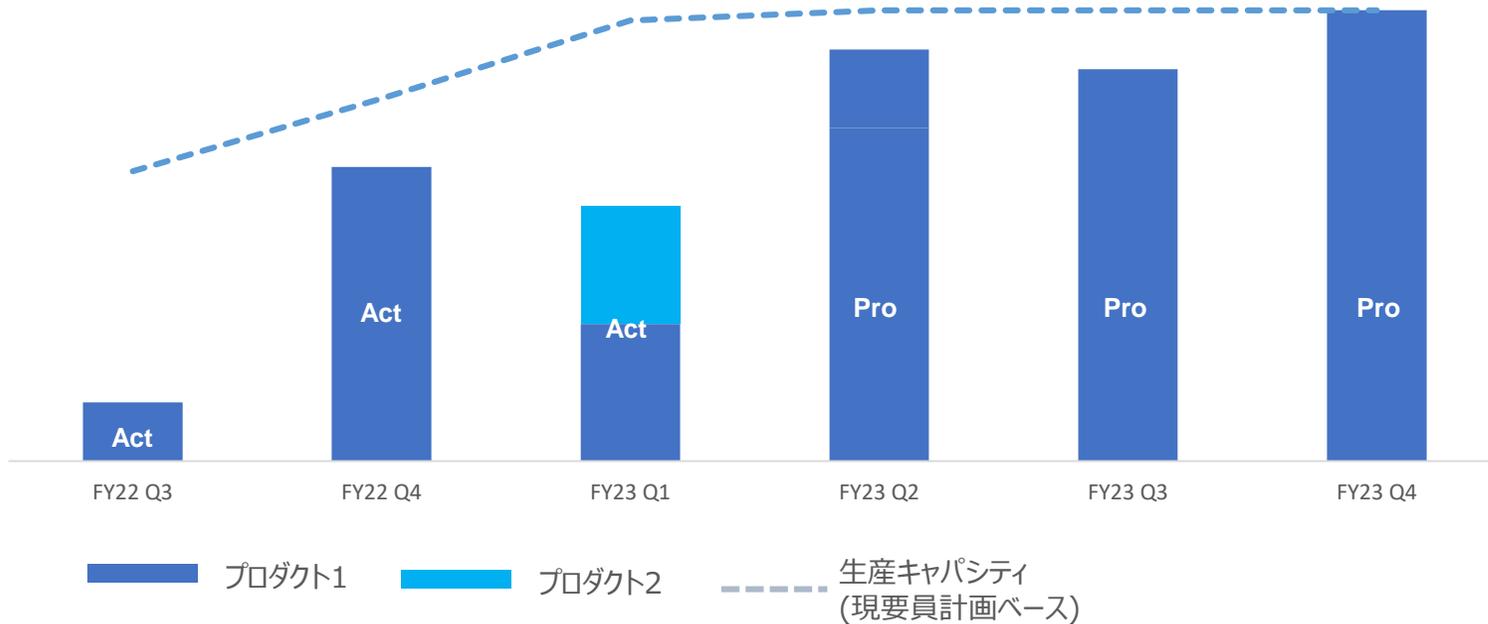
5. ライフサイエンス事業(CDMO) : KBI新工場 生産計画の進捗



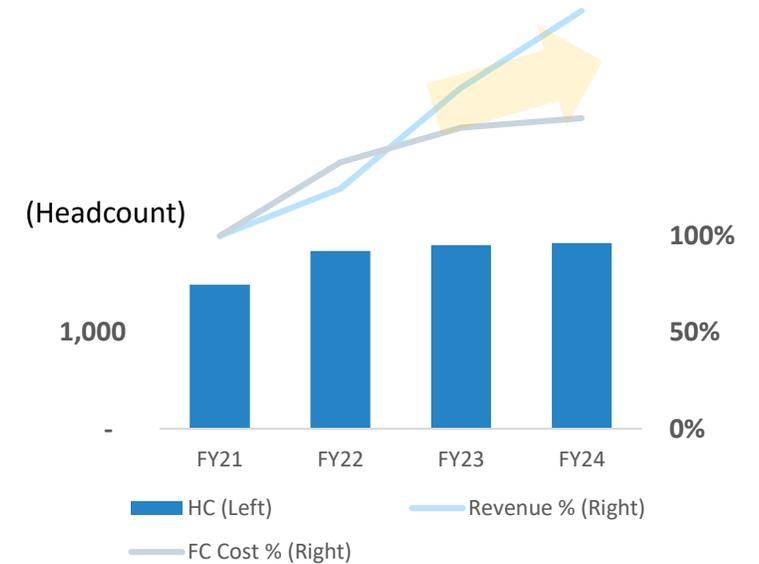
ノースカロライナ新工場:稼働は順調。
現時点通期で計画(Pro)を上回るペースでの稼働を見込む。

KBI全体:
収益改善プロジェクトを継続して推進中

of batch started in each Q/Utilization



*上記生産計画は随時見直しているため、変更が生じる。前回から大きな変更はなし。
*2023年6月時点。



*%はFY21を100%とした場合。
*前回開示から変更なし。

【APPENDIX】連結損益計算書



(億円)

	22Q1	23Q1	YoY
売上収益	933	850	-9%
売上原価	616	607	-1%
売上総利益	317	244	-23%
販管費	254	297	+17%
その他の営業収益/費用	10	-8	-
持分法による投資損益	-0	-0	-
営業利益	73	-61	-
金融収支	24	20	-17%
法人所得税	41	-18	-
当期利益	55	-24	-
親会社所有者帰属	57	-26	-
非支配持分	-2	2	-
EPS(JPY)	27.09	-12.44	-
Exchange rate(USD/JPY)	130	137	+6%

コア営業利益から営業利益までの調整

(億円)

	22Q1	23Q1
コア営業利益	62	-53
事業構造改革費用	-	-8
子会社株式売却益	10	-
営業利益	73	-61

【APPENDIX】連結財政状態計算書



(億円)

	23/3E	23/6E	+/-
流動資産	2,993	3,024	+31
現金及び現金同等物	726	813	+87
営業債権及びその他の債権	788	777	-11
棚卸資産	1,184	1,197	+13
その他	294	236	-57
非流動資産	4,167	4,413	+246
有形固定資産	1,696	1,746	+50
のれん	1,479	1,601	+122
その他の無形資産	342	360	+18
その他	650	705	+55
資産 合計	7,160	7,436	+277
流動負債	1,818	2,008	+190
営業債務及びその他の債務	796	726	-71
社債及び借入金	625	932	+307
その他	396	350	-46
非流動負債	1,533	1,559	+27
社債及び借入金	957	951	-6
その他	576	608	+32
負債 合計	3,350	3,567	+217
親会社の所有者に帰属する持分	3,555	3,612	+57
非支配持分	254	257	+3
資本 合計	3,809	3,869	+60

(億円)

	FY23Q1 Act	FY23 Pro
減価償却費 *1	73	320
資本的支出 *2	68	370
研究開発費	79	300

*1 IFRS16号によるリース資産償却を含む。

*2 検収ベース

Net Debt

(現金及び現金同等物 - 有利子負債)

2023/3E : 約860億円
2023/6E : 約1,070億円

自己資本比率

(親会社所有者持分比率)

2023/3E : 49.7%
2023/6E : 48.6%

【APPENDIX】連結CF計算書

(億円)

	22Q1	23Q1	YoY +/-
営業活動によるCF	-42	11	53
税金等調整前当期純利益	96	-42	-138
減価償却費	65	73	7
運転資本増減額	-49	28	76
その他	-155	-47	108
投資活動によるCF	274	-110	-384
設備投資	-72	-116	-44
子会社又は関連会社株式取得	0	0	0
子会社又は関連会社株式売却	351	0	-351
その他	-5	5	10
FCF	232	-99	-331
財務活動によるCF	-387	177	564
有利子負債増減	3	264	261
自己株式取得	-301	0	301
配当金支払	-80	-74	6
その他	-8	-12	-4
現金及び現金同等物に係る為替換算差額の影響額	12	9	-3
現金及び現金同等物増減	-143	87	230
現金及び現金同等物の期首残高	456	726	271
現金及び現金同等物期末残高	476	813	337

*監査前

【APPENDIX】 四半期推移



(億円)

		22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	FY22	23Q1	Q1 YoY	Q1 YoY (CER)*
連結	売上収益	933	1,040	1,157	959	4,089	850	-9%	-11%
	コア営業利益	62	107	146	25	340	-53	-	-
	営業利益	73	104	145	-29	294	-61	-	-
	親会社所有者帰属利益	57	90	48	-38	158	-26	-	-
デジタルソリューション	売上収益	429	477	445	354	1,704	377	-12%	-14%
	半導体材料	305	377	330	252	1,264	262	-14%	-17%
	ディスプレイ材料	104	80	96	86	366	99	-5%	-6%
	エッジコンピューティング	20	20	19	16	75	16	-20%	-20%
	コア営業利益	77	108	82	11	278	26	-66%	-75%
	コア営業利益率	18%	23%	18%	3%	16%	7%	-61%	-
ライフサイエンス	売上収益	227	287	416	334	1,265	212	-7%	-11%
	コア営業利益	0	7	60	18	84	-69	-	-
	コア営業利益率	0%	2%	14%	5%	7%	-	-	-
合成樹脂	売上収益	228	229	266	236	958	227	-0%	-2%
	コア営業利益	-5	4	14	6	19	-2	-	-
	コア営業利益率	-	2%	5%	2%	2%	-	-	-
その他・調整額	売上収益	49	47	30	36	162	34	-30%	-30%
	コア営業利益	-10	-12	-10	-9	-41	-9	-	-
Exchange rate (USD/JPY)		130	138	142	132	135	137	+6%	0%

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

FY23 Q2
決算発表

2023年11月6日

同日、金融機関向け説明会を実施予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更となる可能性があります。

- ・本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。